（宛 先）

厚生労働省 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 宛

〒100－8916 東京都千代田区霞が関1－2－2
電話 03(5253)1111 （内線4287）
03(3595)2423 （18時以降）
FAX 03－3595－2432 （残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

平成30年 4月20日

平成30年5月9日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

現職 国立医薬品食品衛生研究所 食品部長
氏名 穐山 浩

（別紙）

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　ニューファム株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下

□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下

□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料

□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬

□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式

□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下

□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下

□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料

□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬

□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式

□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下

□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下

□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料

□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬

□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式

□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　BASFジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下

□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下

□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料

□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬

□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式

□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): クミアイ化学工業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): シンジェンタジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審査の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 宛

〒100－8916 東京都千代田区霞が関1－2－2
電話 03(5253)1111 (内線4287)
03(3595)2423 (18時以降)
FAX 03－3595－2432 (残留農薬等基準審査室FAX)

寄付金・契約金等受取(割当て)額等回答表

平成30年4月27日

平成30年5月9日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取(割当て)額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

現職 埼玉県衛生研究所
氏名 石井里枝

（別紙）

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　ニューファム株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　BASFジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): クミアイ化学工業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し
受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度
当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
特記事項

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): シンジェンタジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4287）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

平成30年4月23日

平成30年5月9日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

現職　立命館大学

氏名　井上 浩一

（別紙）

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　ニューファム株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下
□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下
□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下
□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下
□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下
□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下
□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　BASFジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 50万円以下
□ 平成29年度　□ 50万円超～500万円以下
□ 平成30年度　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　クミアイ化学工業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　シンジェンタジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4287）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

平成30年4月24日

平成30年5月9日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

現職　麻布大学獣医学部教授

氏名　折戸謙介

（別紙）

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　ニューファム株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：☐ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

☐ 平成28年度
☐ 平成29年度
☐ 平成30年度

当該年度における受取額

☐ 50万円以下
☐ 50万円超～500万円以下
☐ 500万円超

【受取額の内訳】
☐ 寄附金（奨学寄付金含む）　☐ 研究契約金　☐ コンサルタント料・指導料
☐ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
☐ 講演料　☐ 原稿執筆料　☐ 当該企業の株式
☐ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：☐ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

☐ 平成28年度
☐ 平成29年度
☐ 平成30年度

当該年度における受取額

☐ 50万円以下
☐ 50万円超～500万円以下
☐ 500万円超

【受取額の内訳】
☐ 寄附金（奨学寄付金含む）　☐ 研究契約金　☐ コンサルタント料・指導料
☐ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
☐ 講演料　☐ 原稿執筆料　☐ 当該企業の株式
☐ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：☐ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

☐ 平成28年度
☐ 平成29年度
☐ 平成30年度

当該年度における受取額

☐ 50万円以下
☐ 50万円超～500万円以下
☐ 500万円超

【受取額の内訳】
☐ 寄附金（奨学寄付金含む）　☐ 研究契約金　☐ コンサルタント料・指導料
☐ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
☐ 講演料　☐ 原稿執筆料　☐ 当該企業の株式
☐ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　BASFジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：☐ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

☐ 平成28年度
☐ 平成29年度
☐ 平成30年度

当該年度における受取額

☐ 50万円以下
☐ 50万円超～500万円以下
☐ 500万円超

【受取額の内訳】
☐ 寄附金（奨学寄付金含む）　☐ 研究契約金　☐ コンサルタント料・指導料
☐ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
☐ 講演料　☐ 原稿執筆料　☐ 当該企業の株式
☐ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：☐ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　クミアイ化学工業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): シンジェンタジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 → 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 → 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4287）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

平成30年5月1日

平成30年5月9日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

現職　大阪市立大学　准教授
氏名　鬼武 民

（別紙）

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　ニューファム株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　BASFジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　クミアイ化学工業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　シンジェンタジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

（宛先）

厚生労働省 医薬・生活衛生局
食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 宛

〒100－8916 東京都千代田区霞が関1－2－2
電話 03(5253)1111 （内線4287）
03(3595)2423 （18時以降）
FAX 03－3595－2432 （残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

平成30年 4月 24日

平成30年5月9日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

現職 東京農工大学 准教授
氏名 佐々木一昭

（別紙）

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　ニューファム株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のクロルフルアゾロンの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　BASFジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他（　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 — 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 — 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): クミアイ化学工業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 — 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): 日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 — 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額
□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し
● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

企業名(申請企業等): シンジェンタジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額 — 受取の有無: □ 有り ☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む) □ 研究契約金 □ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料 □ 原稿執筆料 □ 当該企業の株式
□ その他( )

● 申請資料等の作成に密接に関与 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係 — 該当の有無: □ 有り ☑ 無し

特記事項

（宛 先）

厚生労働省　医薬・生活衛生局
食品基準審査課　残留農薬等基準審査室　宛

〒100－8916　東京都千代田区霞が関1－2－2
電話　03(5253)1111（内線4287）
03(3595)2423（18時以降）
FAX　03－3595－2432（残留農薬等基準審査室FAX）

寄付金・契約金等受取（割当て）額等回答表

平成30年4月27日

平成30年5月9日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
以下の申請に係る企業からの寄付金・契約金等の受取（割当て）額等について、別紙のとおり回答する。

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

現職　元 一般財団法人 残留農薬研究所 理事
氏名　佐藤 清

（別紙）

①食品中の2,4-Dの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　ニューファム株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

②食品中のクロルフルアズロンの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　石原産業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

③食品中のクロルメコートの残留基準の設定について

企業名（申請企業等）：　BASFジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取（割当て）額　→ 受取の有無：□ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
- □ 平成28年度
- □ 平成29年度
- □ 平成30年度

当該年度における受取額
- □ 50万円以下
- □ 50万円超～500万円以下
- □ 500万円超

【受取額の内訳】
- □ 寄附金（奨学寄付金含む）　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
- □ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- □ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
- □ その他（　　）

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無：□ 有り　☑ 無し

特記事項

④食品中のスピノサドの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑤食品中のピコキシストロビンの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑥食品中のピリベンカルブの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　クミアイ化学工業株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑦食品中のフェンピロキシメートの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　日本農薬株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度　当該年度における受取額

□ 平成28年度　□ 平成29年度　□ 平成30年度

□ 50万円以下　□ 50万円超～500万円以下　□ 500万円超

【受取額の内訳】
□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項

⑧食品中のメタラキシル及びメフェノキサムの残留基準の設定について

企業名(申請企業等):　シンジェンタジャパン株式会社

● 寄付金・契約金等の受取(割当て)額　→ 受取の有無: □ 有り　☑ 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

□ 平成28年度
□ 平成29年度
□ 平成30年度

当該年度における受取額

□ 50万円以下
□ 50万円超～500万円以下
□ 500万円超

【受取額の内訳】

□ 寄附金(奨学寄付金含む)　□ 研究契約金　□ コンサルタント料・指導料
□ 特許権・特許使用料・商標権による報酬
□ 講演料　□ 原稿執筆料　□ 当該企業の株式
□ その他(　　)

● 申請資料等の作成に密接に関与　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

● 審議の公平さに疑念を生じさせると考えられる特別の利害関係　→ 該当の有無: □ 有り　☑ 無し

特記事項